

Q1. TEC-FORCE隊員として、 どのような役割を担っていますか？

私は、災害により通行止めとなった道路を通行できるようにする道路啓開や、土砂崩れの土砂を撤去する方法を検討するなど、被災自治体の応急対策を支援する役割を担っています。被災自治体には土木職の技術者が少ない、あるいはゼロという場合があるため、代わりに我々が入り、1日でも早く道路啓開を行い、警察・消防・自衛隊が迅速に被災地に入ることができるようにすることが重要です。

平成28年の宮古市の災害では、台風による大規模な出水によって、約300mほど崩壊した県管理の道路を、約11日間で通行できるようにするなど早期復旧を支援しました。



崩壊した道路の啓開に向けた関係者調整
(平成28年8月台風10号豪雨災害)

INTERVIEW

03

しょうじ あきら
庄司 彰

中国地方整備局

Q2. 日頃から心がけていることは何ですか？

被災地では被災状況を見て、その場でどのような対策が有効かを速やかに判断することが求められます。私は、日ごろから、斜面や道路等の様子をよく観察し、被災しやすい箇所をあらかじめ予測して行動できるように訓練をしています。また、土砂を撤去し道路を通行できるようにするためには、工事のための資材置き場をどこに確保できるかなどを含めて作業の組み立てを行い、



建設会社を交えた調査方針の協議
(平成30年7月豪雨)

建設会社の方々と調整する必要があります。被災地の状況をふまえて柔軟な段取りを組めるよう、普段から様々な現場を見て考えることを心がけています。

さらに、水害は酷暑の時に発生しやすいので、TEC-FORCE隊員が被災地で倒れないよう、日頃から体力維持はもちろんですが、被災地では隊員同士で十分にコミュニケーションをとり、体調管理を行うことも大事です。現場の最前線での情報収集・指示判断をするTEC-FORCE隊員が体調管理を心がけることは、被災地の迅速な復旧のためにも重要な観点だと思っています。

Q3. TEC-FORCEとは一言で何ですか？

「安心をお届け」です。

災害がおきる頻度が増え、その規模も大きくなる中、被災自治体だけで災害から復旧することは難しくなっています。国の組織であるTEC-FORCEと被災自治体が連携して災害対応にあたることで、被災地の方々に安心をお届けしたいと考えています。

